

水産物の市況について(平成30年10月及び11月)

—東京都中央卸売市場における平成30年10月(平成30年9月21日～平成30年10月20日集計)の市況と、平成30年11月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成30年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、豊洲への市場移転に伴う休市日が多かったことからやや減少し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は水産物全体の販売不振もあり、前月と比べやや弱含みに推移しました。

II 平成30年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、盛漁期を過ぎたことからやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みと見込まれます。

「さけ・ます類(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、全体で横ばいと見込まれ、卸売価格は横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、盛漁期に入ることから増加が見込まれるものの、需要期のため、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、水揚げが低調で生鮮・冷凍とも横ばいと見込まれ、卸売価格は生鮮・冷凍とも横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、端境期で横ばいと見込まれ、卸売価格は横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、ミナミマグロはやや増加、クロマグロ・メバチマグロ・キハダマグロはやや減少すると見込まれ、卸売価格は、ミナミマグロはやや弱含む、クロマグロ・メバチマグロ・キハダマグロはやや強含むと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、終漁間近で減少が見込まれ、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、操業隻数が徐々に少なくなることから減少と見込まれ、卸売価格は、中小型魚の割合が増加することからやや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含む
11～20	増加(減少)	強(弱)含む
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含む
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	10月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
30年	34	1,063	39	1,101	29	1,128
前年	36	1,055	38	1,095	31	1,124

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	258	68	89	68
さけ・ます(平均)	1,063	98	106	120
(ぎんざけ塩蔵品)	1,004	98	98	114
(あきさけ塩蔵品)	979	114	100	130
(ときさけ塩蔵品)	1,294	94	111	133
(べにざけ塩蔵品)	1,396	101	115	132
(さけ類冷凍品)	1,035	98	106	120
さば(生鮮品)	563	105	91	107
するめいか(平均)	872	110	108	156
(生鮮品)	919	115	116	167
(冷凍品)	824	106	90	157
あじ(生鮮品)	645	117	107	109
まぐろ(冷凍品)	1,554	100	90	105
(めばち冷凍品)	1,200	103	89	110
(きはだ冷凍品)	1,048	106	80	99
(くろまぐろ冷凍品)	3,355	101	101	90
(みなみまぐろ冷凍品)	1,772	91	83	88
かつお(生鮮品)	663	97	63	73
さんま(生鮮品)	411	59	67	93

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:10月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6613 北川、岩佐

直通 03-3502-4190